

## 夏休み高校生留学 姉妹都市ハイワード市へ

コロナ禍以来、久々となる夏休み高校生留学が行われました。昨年度は渡航費の上昇で、参加人数が定員に足りず実現しませんでした。今年度は定員以上の申し込みがあり、期待に胸を膨らませた高校生12名が参加しました。留学の様子を参加者の高木悠花さんにレポートしていただきました。



(株)日立製作所にて、鎌倉さん（後列右）との写真



州立大学イーストベイ校にて修了記念撮影

私たちは7月21日からの7日間、船橋市の姉妹都市である米カリフォルニア州ハイワード市に留学しました。現地では英語の授業に加え、サンフランシスコ観光、市長訪問、日系人博物館での学習など、このプログラムならではの多くの貴重な経験をすることができました。

その中で特に私の印象に残っていることは、(株)日立製作所社員の鎌倉さんによる講義と、ホストファミリーとの交流です。講義では鎌倉さんのこれまでの海外勤務での経験や、働く上で大切にしていることなど、私たちの将来に役立つお話を聞き、自分の視野を広げるきっかけになりました。鎌倉さんは、社会人になった当初はビジネスレベルの英語力はなかったものの、自分だけの強みを見つけたという思いから英語学習を始めたそうで、目標達成に向けて、自らチャンスを掴むために行動することや、社会人になってからも新たな目標を持ち努力し続けることの大切さを学びました。

ホストファミリーとの交流では、英語での日常会話やアメリカの生活様式を体験することができました。会話を通して自分の英語力の低さを実感しましたが、異文化交流においては自分の思いを伝えようとする姿勢や、ジェスチャーを交えての話など、心を込めて会話することもまた重要だと感じました。



ホストファミリーとゴールデンゲートブリッジへ観光

買い物に連れて行ってくださったり、毎晩おいしい手料理を作ってくださったり、まるで本当の家族のように親切に接してくださり、積極的に英語で話すことができたため、英語力向上につながったと感じました。また、日本を代表する伝統文化の1つでもある茶道を体験してもらうこともできました。抹茶風味のお菓子はアメリカでも人気であるものの、苦味のある抹茶は口に合わないのではないかと不安がありましたが、気に入ってもらえることができました。今後も外国の文化を知るとともに、日本の文化をもっと学び、世界に発信していきたいです。



茶道を体験するホストマザー



有名チョコレート店で飲食

今回、英語学習や異文化交流など同じ目的を持った高校生同士で行ったことでお互い高め合ったり、慣れない環境の中で支え合ったりし、かけがえのない、尊敬できる友人と出会ったことも大きな成果の1つだと感じています。このプログラムでの学びを自分の将来や、姉妹都市交流発展に繋げたいです。

高木悠花

留学全体のレポートはこちらから読むことができます。



# インターナショナルフェスティバル2025開催



中国の子どもたちによる民族舞踊「草原の子馬たち」



松戸徹船橋市長のご挨拶

10月26日（日）、アンデルセン公園にて、インターナショナルフェスティバルが開催されました。当日は、天気予報も雨とあって、フリーマーケットの出店者や、ステージの出演者からもキャンセルがありましたが、できる範囲での開催となりました。

開始の10時には、雨も上がり、来園者もちろほら見かけるようになりました。オープニングは大きな和太鼓の演奏で始まりました。小田原実行委員長の開会挨拶の後、嘉規洋会長からハイワード派遣高校生の紹介や、フェスティバルボランティアの皆さんにお礼の言葉があり、「雨の中ですが楽しんでください」と挨拶がありました。続いて、来賓の松戸徹船橋市長から「世界情勢が不安定な中、外国人と日本人がお互いに協力し合って生活することが大切です。フェスティバルを世界とつながる場所として楽しんでください。」とご挨拶がありました。

## ステージ

3Q体操協会のメンバーによる3Q体操と重陽気功の披露で始まりました。続いて、Yurikoさんによるデンマーク体操では、観客も一緒に体を動かしました。今回初めて出演したサルササイズ（ラテンビクス）の二人は、ノリの良いリズムカルなステップで会場を巻き込んで踊りました。中国伝統芸能では、伝統衣装のファッションショーに続き、子どもたちのかわいい民族舞踊「草原の仔馬たち」、中国の合唱団による中国音楽「ジャスミンの花」、日本の「翼をください」「昴」が披露されました。

午後は、ベトナムの伝統衣装のファッションショーで始まりました。正月によく舞われるという獅子舞は二人の息があって生きている獅子のような踊りでした。また子どもたちによる踊りも披露されました。フィリピンのアリシアさんのグループは、ハワイアンダンスやバンブーダンスを披露し、会場の子どもたちも参加しました。フィナーレは、ポール＆ジョジョの二人による英語の歌の数々。素晴らしい歌声は会場を魅了しました。



中国伝統衣装のファッションショー



ベトナムの獅子舞



ベトナムの踊り



フィリピンのバンブーダンス



ラテンビクスの二人



ポール＆ジョジョの英語の歌



## 模擬店・フリーマーケット

イベントドームでは、中国のお焼き、コロンビアのエンパナーダ、ベトナムのコーヒー、パキスタンのロングポテト、ミャンマーの春雨スープ、留学生のホットドッグなど世界各国の食べ物店が並び、商工会議所からは、船橋産の野菜の味噌汁が無料で提供されました。



◀商工会議所提供  
のみそ汁



◀コロンビアの  
エンパナーダ

留学高校生の  
ホットドッグ



韓国の小物  
細工体験



## スタンプラリー

あいにくの雨模様で、園内6箇所での開催は諦め、本部テント1箇所での開催となりました。この日のために集まった外国人や日本人のボランティア40名は、それぞれ工夫し、楽しく外国語の挨拶を参加者に話し

てもらいました。「5分で世界一周できますよ～」と通りすがりの来園者に参加を呼びかけて、約240名の参加がありました。「面白かった」と景品をもらって帰る親子連れもありました。



スタンプラリー



ラスムスケルの塗り絵コーナー



# 外国人のための防災講座開催

9月30日（火）中央公民館にて、外国人のための防災講座が開催されました。近隣の企業に勤める外国人や、日本語教室で日本語を学んでいる外国人など30名が参加しました。まず、講堂で防災担当の片桐副会長から、災害時の注意があり、便利な備品などを一緒に考えてワークシートに記入しました。講義の後、外に出て、起震車で震度7の体験と煙中テントで壁をつたいながら進む体験をしました。参加者は怖そうに体験していました。



必要な備えを相談する参加者たち



起震車の体験



煙中テントの体験

# 「やさしい日本語」講座開催

10月4日（日）市役所大会議室にて、講師に岩田一成氏を招いて恒例の「やさしい日本語」講座が開かれました。船橋市の外国人人口は、3.9%で全国平均より多いこと、学校のお知らせや行政の情報、病院の説明など読みにくいものが多いこと、外国人とどうコミュニケーションをとったらいいかなどについてお話がありました。外国人の英語人口は2割弱に対して、日本語人口は6～8割という統計結果が出ています。そのため国もやさしい日本語の普及に力を入れているそうです。

31名の参加者は、お話を聞いた後、実際使われている文をやさしい日本語に直す練習をしました。小学校のお知らせでは、「子どもが自分で読めてわかる・大事なことがわかる・文字が多すぎないこと」を学びました。駅のアナウンスを外国人にわかりやすく伝えるには、「8時から電車が止まります。台風が来ますから。」と必要なことだけを伝えるようにと学びました。町中の表示も、まずはローマ字でなくひらがなを広めて欲しいと言う講師のお話に、参加者は熱心に耳を傾け、頷いていました。



講義を聴く参加者たち

## お知らせ

### 国際理解セミナーが「スリランカ」大使をお招きして開催されます。

日 時：2月26日（木） 18：00～20：00

場 所：勤労市民センター 地下ホール

申し込み方法：広報ふなばし2月1日号、ホームページをご覧ください。